



ゴミ拾いながらのウォーキングイベント



平成19年度2007年

東海道駿河2峠6宿風景街道&ぐるり富士山風景街道

令和6年12月

静岡二峠六宿街道観光協議会 事務局高木敦子

NP0法人地域づくりサポートネット



道のエコミュージアムとは

■道を使った青空博物館

■地域の文化・歴史・営み・魅力を歩く・
サイクリングで体験する

道のエコ
ミュージアム

東海道2峠6宿駿河歩人

東海道駿河2峠6宿風景街道

須走 巡拝の道づくり

ぐるり富士山風景街道(国道138号)

東海道2峠6宿駿河歩人

東海道のいろは



御坂の松並木



浜名湖今切口には渡し船があった



多くの武将が訪れた宇津ノ谷集落



東海道の屋影を残す薩埵峠、関の参道倉沢



東海道という日本の文化的資源を

「道のエコミュージアム」として、活かし・発信

近年の主な活動

活動項目	内容	関連
①見所解説マップ制作・配架	広域・詳細の解説マップ7種類 英訳4宿場と薩埵峠	国交省町廻りナビPJ ⇒協議会
②HP・動画の配信	各宿場イメージ動画2種類+タイムラプス⇒マップ等もHP掲載	同上⇒協議会/文化庁文化芸術振興補助金
③迷わないための道路表示サイン	東海道の路面シート61カ所 民家敷地140箇所以上	静岡市事業 日本遺産事業
④東海道を学ぶプログラム	小学6年生への東海道講座 教材「東海道イロハ」他	日本遺産事業 文化庁文化芸術振興補助金
⑤シーニックベンチ	道の駅に隣接する護岸の修景とベンチ整備	静岡市・道路協力団体協働
⑥ウォーキングイベントの開催	宇津谷峠にてガイド付のウォーキングイベント	道の駅・企業・大学・地元・道路協力団体・協議会
⑦道路協力団体の支援	太平洋自転車道の迂回ルート誘導サイン・清掃・駐車場・他	宇津ノ谷峠・丸子宿

①見所解説マップの制作と配架

風景街道を紹介！

蒲原宿 江戸の香りが残る夢の宿場町を歩く ●約3km



表

江戸の宿場には、見附や木戸を設けて入口としていました。蒲原宿には、当時の町割と木戸の位置がはっきり残っています。木戸内(626m、約1.15km)を、当時の宿場の面影を五感と創造力で歩くコースです。

①東木戸・西木戸

宿場の治安維持と通行人の監視のため、宿場入口は時刻に閉鎖し、朝方には開放してました。見付と呼ばれることが多いのですが、蒲原宿の場合、木戸と呼んでいます。

②渡邊家 土蔵・文書 市指定文化財

静岡県指定文化財(土蔵と古文書3002点)
問屋職や郡中時代を代々務めた旧家で、木戸を商っていた事から「木戸」という屋号でした。土蔵は、天保10年(1839年)に上棟したことが分かっており、四隅の柱が上にいくにつれて少しずつ狭まる「四方具(しほうよく)」「四方転び」という耐震性に優れた技法で建築されています。三階建ての土蔵は珍しく、日本で5番目に古いもので、「木戸江戸資料館」となっています。
●雨天時は閉鎖

③佐藤家

「佐野屋」という商家でした。壁が塗壁の「塗家造り」の建物で、なまこ壁の白と黒のコントラストが装飾的で、重厚感にあふれています。

④吉田家 国登録有形文化財

「徳業堂」という屋号で和菓子を作る商家でした。なまこ壁の「塗家造り」で、内部は柱が広く「店の間」で、商家らしい雰囲気が残っています。

●よりよく

●塗家造りとは
外部の柱や窓枠を漆喰で塗っている様式のこと。土壁による土蔵造りに比べ、防火効果が高く、質沢軽薄ともいわれていました。もともとは城郭などで使われていた技術であり、一般には江戸末期以降に広まったと考えられており、町屋に多く見られる造りです。

徳川家康公の御殿の裏山だったのが御殿山と名付けられています。後の名所です。



東海道は57次？
1601年、徳川家康公は江戸から京都までの宿場制度を設けた。東海道の宿場は40か所程でした。その後、1615年、豊臣家を滅ぼした大坂の戦いで、東海道の宿場は1624年、家光公の時代に江戸から京都までの53の宿場と大坂まで「伏見宿」「淀屋」「坂崎宿」「守口宿」を入れて57の宿場と東海道としていたようです。



約240年前の問屋所跡 吉田邸

⑫旧五十嵐歯科医院

国登録有形文化財
町家を洋風に増改築した擬洋風建築と呼ばれる建物で、外観は洋風、内観は和風というユニークな建物です。当時の洋風建築としては珍しくガラス窓が多く、開放的で下見板の白いベンキがモダンな雰囲気を醸し出しています。水道がなかった時代、井戸水を二階の診療室まで運んだポンプや配管も残っています。名匠として知られ、宮内大臣だった田中光顕伯爵も患者の一人でした。

⑬志田邸 国登録有形文化財

屋号は「やま六」、醤油醸造を営む商家でした。安政の大地震後、安政2年(1855年)に建て直された。外観は切妻造平入瓦ぶきで、蔵戸のある町家です。江戸から昭和前期までの生活関連品も展示しています。
●10:00~15:00 ●開館/土・日・祝日
●大人300円、小・中学生200円(NPO協力費として)
●蔵戸(しとみど)とは
平安時代の寝殿造りや神社の社殿などに見られる蔵戸のようなものと考えられています。建物の柱と柱の間に取り付けられ、隙間を板で埋め、屋根は瓦で上から持ち上げ、日除けとして使えます。

⑭増田家

町家に多く見られる伝統的な建築工法である格子戸が美しい建物です。

⑮木下家(旧岩越家) 国登録有形文化財

岩越家は宮内大臣を歴任し、政界に多大な影響力があった田中光顕伯爵の秘書をしていました。蒲原の青山荘に在住していた田中伯爵を訪れる要人を岩越家が受け入れ、その後、田中伯爵と面談したそうです。戦後、旅行会社から依頼され、日本を訪れる外国人観光客の受け入れもしていました。

宿原蒲

江戸、明治、大正、昭和の建物が残る宿場

蒲原宿の魅力を映像で!

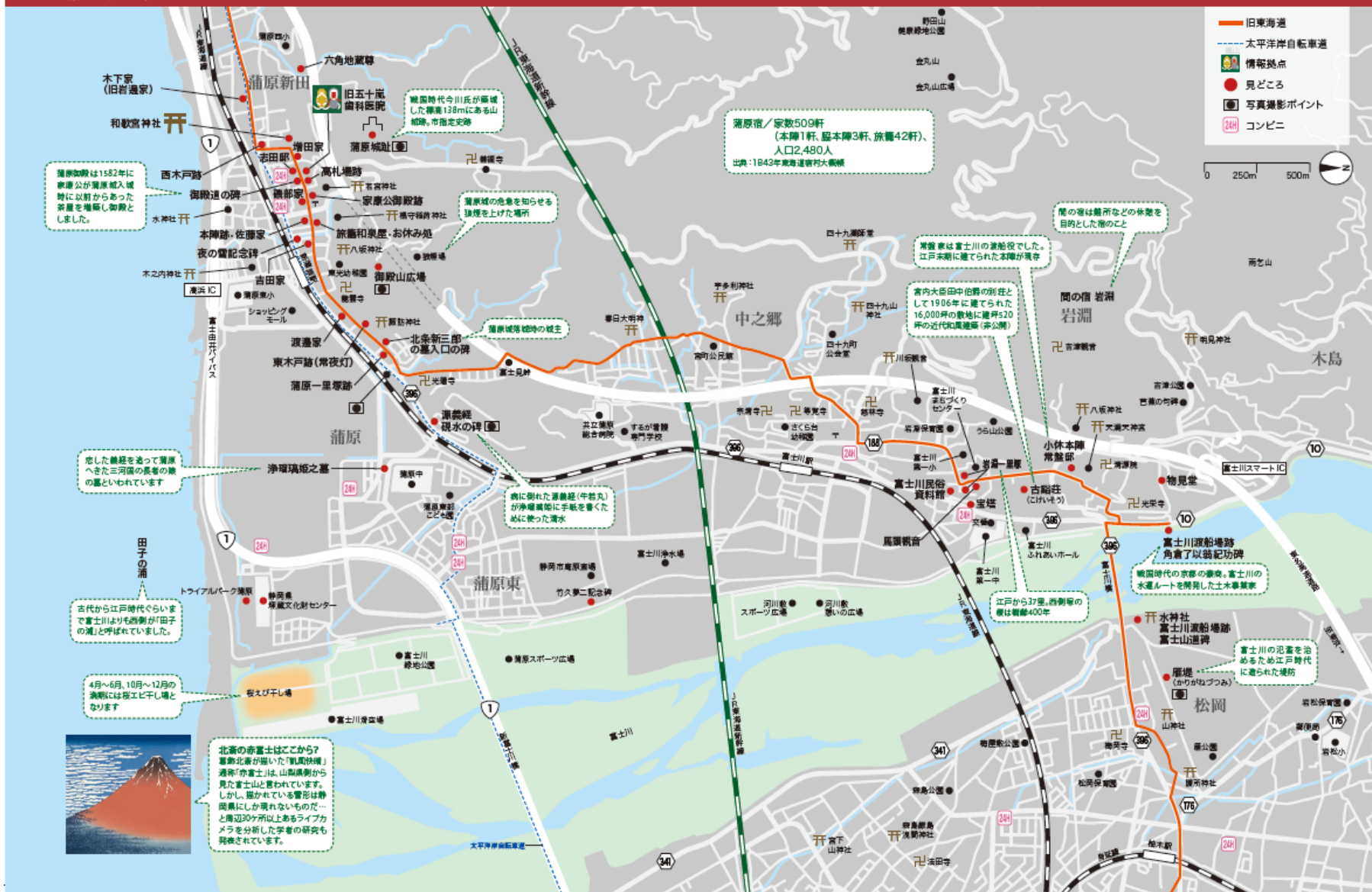
東海道 15番目の宿場
「蒲原宿」▶



東海道 山部赤人がうたった
「田子の浦ゆ 打ち出でてみれば～」
(はる歌集)



東海道 富士川～
蒲原宿西木戸まで
タイルニズナ



②迷わないための道路標示デザイン

エリア内では国道を5回 JR線路の下を3回横断

国道や鉄道と交差している東海道二峠六宿



5度目の国道1号横断
です。歩道橋を渡り宇津ノ谷峠へ向かいます



4度目の国道1号横断で、
この先は丸子宿です

2度目の国道1号と
JR東海道・新幹線
の横断です。



国道1号を横断し、
国道と並行する旧
東海道に入ります



3度目のJR東海道・新幹線と国道1号
を横断し府中宿に入ります



JR東海道・新幹線を横断する
ため地下通路に入ります



国道1号から巖井の松
原跡、江尻宿に入ります



興津宿を過ぎると国道1号を歩きます。
静岡バイパス、東海道線が交差します



東名高速道路を横断し、住宅街を通ると
蒲原宿に入ります



由比宿から藤塚峠
へは限道の歩道橋
を渡ります



耕地整理のため東海道
が寸断。ここを渡って
興津川を渡ります



蒲原宿から宇津ノ谷峠の約40km以上の区間で迷わず楽しく歩けるように
静岡市内19カ所、藤枝市内3カ所の道路路面シートを整備しました。
また沿道の方にも協力いただき、約140箇所にて東海道シールを貼付しています。



やれやれ...国道1号を
5回も横断したわい。
こりゃ、迷っちゃうぜ!

誘導路面シート:61箇所



JR東海道・新幹線を横断するため地下通路に入ります



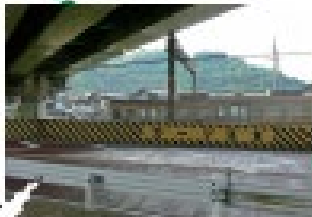
東名高速道路を横断し、住宅街を通ると藤原宿に入ります



国道1号から藤井の松原跡、江戸宿に入ります



由比宿から藤増峠へは県道の歩道橋を渡ります



奥津宿を過ぎると国道1号を歩きます。静岡バイパス、東海道線が交差します



耕地整理のため東海道が寸断
奥津



日本遺産事業
により
藤枝市にも29
箇所整備



民地東海道シール:約140箇所



③ 東海道を学ぶプログラム

日本遺産 駿州の旅二峠八宿(静岡市+藤枝市)
R6年度静岡市内6年生を対象とした東海道講座
今年度は6校、延べ約480人の子ども達に講座とワークショップ



④シーニックベンチ

<経緯>

- ①R2年12月 地元有志による草刈りと菜の花種配布
- ②R3年1月 地元有志による桜の植栽
- ③R3年6月 地元有志、道路協力団体、道の駅管理者等による彼岸花の球根の植栽
- ④R3年～ 静岡県河川管理者との調整
- ⑤R4年 静岡国道事務所による道路敷地の草刈りの実施
- ⑥R5年3月 南天の植栽
- ⑦R5年9月 ベンチ塗装後、設置
- ⑧R6年～ 草刈りの実施(彼岸花・菜の花)

夏には河床・護岸が整備されている丸子川で遊べるようにしたい



不要ベンチをもらい受けシーニックベンチとして活用



道の駅管理主体、地元、企業、NPO、行政にて草刈り



⑤道路協力団体の支援

道の駅宇津ノ谷峠を活用し、
住民参加のワークショップで検討された方針や事業を進める
担い手として道路協力団体への登録



**NCRに登録
された太平
洋岸自転車道**

人気がある
明治トンネル
へ誘導する
サインを民地
側に設置





③道路協力団体への支援 団体の活動紹介

**課題：道の駅には駐車場台数が少ない
国の施設内にイベント時等に活用できる有料駐車スペースの確保**



看板設置状況



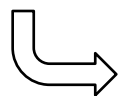
タイムズ24—B駐車場 全景

**1回500円、300円が協力団体収入
令和5年度39台実績**



団体の活動紹介

道の駅宇津ノ谷峠のHP発信



ホームページ(おしらせ画面)に活動状況を掲載



道の駅自販機の設置



団体の活動資金



非常時における飲料供給に関する覚え書き締結



JOHN F. TAVELER

頂上を目指すスポーツ的な登山ではなく
日本人が本来抱いていた富士山信仰の「拝む(登拝・遥拝・巡
拝)ができる道

須走 巡拝の道づくり(ぐるり富士山風景街道)

＜経緯＞

- ①H26年 国道138号景観ワークショップ会議実施(沼国)
- ②H27年 活動開始
- ③H28年 巡拝の道づくり事業開始(文化庁)
- ③～R3年 景観ワークショップ会議と
年1回の活動・100人～200人参加(沼国)
- ④R4年 地元協議会が道路協力団体に認定・自主事業
高知寒冷地にあった桜の植樹(沼国)
- ⑤R5年 富士山世界遺産登録10周年記念事業
地元参加者500人超える
景観ワークショップ会議(町)実施
- ⑥R6年 小雨にもかかわらず住民500人強参加

中部未来創
造大賞
特別賞受賞

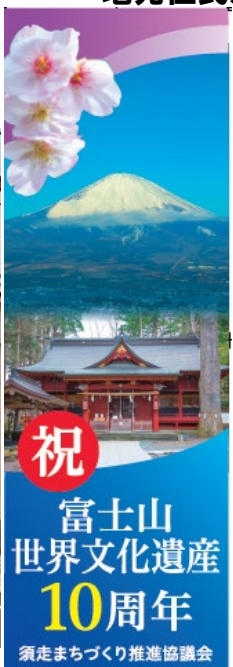
活動目標:キャッチフレーズ

世界に誇ろう!須走の景観と富士山

世界に誇ろう!須走の景観と富士山



地元住民が500人以上参加する夏の富士さ須走口美化活動



富士山世界遺産登録10周年の2023年には横断幕、タペストリー、富士山クイズゲームも実施



ガードレール茶色塗装の場所ごと関わった住民の記念撮影。これだけの人数が係ると数百メートルは塗装できます



住民・行政・企業・各団体のみなんで取り組む



花の会と国道事務所職員



国・県の職員と地域のみなさんで取り組む



ネクスコさんは毎年大勢参加



町と国の職員のコラボで雑草除去

最後に・・・

1. 風景街道の認知度を高めたい

- －行政・民間がすぐにできることがあるはずである
- －特に(お金をかけずに) 行政ができること
- －観光振興、文化振興に風景街道をからめる

2. 「道路協力団体」の理解

- －基礎自治体・県の道路部門の職員認知度を高める
- －道路部門以外の職員も知っている制度になるといい
- －「道路協力団体の社会的な役割」についての理解を高めてほしい